

ドキュメンタリー映画

# うんごと 死体の 復権

こいつらすげえって尊敬しはじめてきた

探検家・医師  
関野吉晴

監督：関野吉晴

出演：伊沢正名／高槻成紀／館野鴻

プロデューサー：前田亜紀／犬島新 製作：ネツゲン／クリエイト21 配給：きらくびと

2024年 | 日本 | カラー | 106分 [unkotoshitai.com](http://unkotoshitai.com)

文部科学省選定作品

今の何かは、次の何かの材料になる。そのために、壊す。立派に育った野菜を切り刻み、歯ですりつぶし、胃液で溶かす。食べることは破壊だ。心配ないぜ。うんこが、次の何かを作る。あとはまかせた。

がんばれ！うんこ！死体と共に！  
——甲本ヒロト（ザ・クロマニヨンズ）

# 探検界のレジェンド・関野吉晴が初監督！ うんこと死体が地球を救う？ 価値観を覆す、鼻つまみ者たちを巡る いのちの循環の旅へ——

「グレートジャーニー」で知られる探検家で医師でもある関野吉晴はアマゾン奥地の狩猟採集民との暮らしを通して、自然とヒトとの関係について考え続けてきた。そして、2015年から『地球永住計画』というプロジェクトを始める。この地球で私たちが生き続けていくためにはどうしたらいいかを考える場だ。

関野はそこで3人の賢人に出会う。彼らの活動を通して、現代生活において不潔なものとされるうんこ、無きモノにされがちな死体を見つめると、

そこには無数の生き物たちが織りなす、世の中の常識を覆す「持続可能な未来」のヒントが隠されていた。

初監督を務めた関野をプロデューサーとして支えるのは、『なぜ君は総理大臣になれないのか』や『国葬の日』など近年注目のドキュメンタリー映画を制作する Netzgen の前田亜紀と大島新。これまで関野の出演作品を手がけた縁からタッグを組んだ。75歳の探検家が4年をかけてあらたに挑んだ、いのちの循環をたどる“旅”は果たしてどんな結末に——。

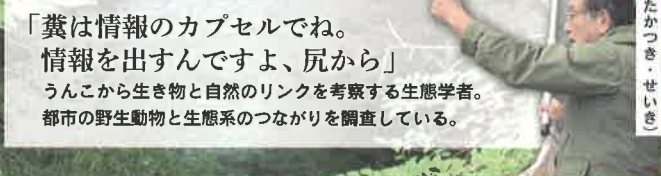
伊沢正名（いざわ・まさな）



「人間が作り出す最も価値あるもの、それはうんこ」

元はキノコなどの菌類を専門に撮る写真家。野糞をすることに頑なにこだわり、半世紀に渡る野糞人生を送っている。

高槻成紀（たかつき・せいき）



「糞は情報のカプセルだね。情報を出すんですよ、尻から」  
うんこから生き物と自然のリンクを考察する生態学者。都市の野生動物と生態系のつながりを調査している。

館野鴻（たの・ひろし）



「もうちょっと死ぬってことを  
ポジティブに考えていいんじゃないか」

死体喰いの生き物たちを執拗に観察する絵本作家。徹底した調査を元に、日陰者（虫）の知られざる命のドラマを描く。

藤原辰史（歴史研究者）京都大学准教授

人はものを食べる。人は食べものにもなる。いやそれどころか、人は食べものを自分のからだから生み出しつつづける。人間世界で最も蔑まれてきたものにこそ、極上の美が宿る。その美に取り憑かれた人たちのあらいぐらいつくしみの物語。

## 監督 関野吉晴（せきの・よしはる）

1949年生まれ。探検家・医師・武蔵野美術大学名誉教授。一橋大学在学中に探検部を創設し、1971年にアマゾン川全域を下る。以後南米への旅を重ね、現地で役に立つと考え横浜市立大学医学部で学び、医師免許を取得。1993年南米最南端からアフリカの人類発祥の地まで動力を使わずに旅をする「グレートジャーニー」を始め、足掛け10年で踏破。その記録は、フジテレビのシリーズ特番として放送された。1999年植村直己冒険賞受賞。

うんこと死体の復権

監督：関野吉晴 出演：伊沢正名／高槻成紀／館野鴻 プロデューサー：前田亜紀／大島新  
撮影：松井孝行／船木光／前田亜紀 編集：斉藤淳一 音響効果：金田智子 監音：高木創  
製作：Netzgen／クリエイト21 配給：きらくびと 文部科学省選定（少年、青年、成人、家庭向き）

unkotoshitai.com

X @unkotoshitai f @unkotoshitai  
2024年 | 日本 | DCP | 106分

